

テーマ：金属AMで描く新時代のモノづくり

金沢大学では、個性や感性に応じた製品の設計・生産を迅速に行う次世代スマート設計生産システムを構築し、産学連携・国際連携による製造業の競争力強化のための拠点を形成することを目的に、令和元年6月に「設計製造技術研究所（AMTI: Advanced Manufacturing Technology Institute）」が設置されました。本研究所は「設計技術領域」と「製造技術領域」で構成され、金属材料を用いた付加製造技術（Metal Additive Manufacturing：金属AM）が中核の一つとなっています。

本シンポジウムでは、試作から量産へと移行してきた金属AMの世界動向、航空・自動車・産業機器・医療など実用化部品の事例、造形前の準備・造形中の失敗・後工程のコストなどソフトウェアを用いた金属AMの事前予測と解決手段について紹介し、我が国で金属AMを普及させるために取り組むべき課題と解決手段について参加者と共に考えます。

日時 2019年9月13日(金) 13:00～17:00（受付開始:12:30）

会場 石川県立美術館 ホール
（石川県金沢市出羽町2-1）

プログラム

- 13:00～ 開会挨拶
金沢大学設計製造技術研究所 所長 森本章治
- 13:05～ 来賓挨拶
石川県工業試験場
- 13:15～ 金沢大学設計製造技術研究所の紹介
金沢大学設計製造技術研究所 副所長 細川 晃
- 13:35～ GEが推進するアディティブ製造 ～世界動向と日本での可能性～
GEアディティブ 日本統括責任者 Thomas Pang 様（日本語講演）
- 14:15～ ソフトによるAM最適化 ～デザインと解析～
オートデスク(株)デジタルマニュファクチャリング事業部 Peter Rogers 様（日本語講演）
- 14:55～ （休憩）
- 15:10～ パネルディスカッション
（テーマ）金属AMで描く新時代のモノづくり ～日本のAM技術普及に必要なこと～
（パネラー）GEアディティブ：Thomas Pang 様、オートデスク：Peter Rogers 様、
七宝金型工業：林信久様、石川県工業試験場：舟田義則様、金沢大学：古本達明
（コーディネーター）金沢大学：坂本二郎
- 16:45 閉会挨拶 金沢大学設計製造技術研究所 教授 古本達明

参加無料
定員 120名

■ 申込方法（以下の何れかでお申込みください）

○WEBから申込み：

①右のQRコードからWebにアクセスの上、お申し込みください。→

②AMTIホームページ(<http://amti.w3.kanazawa-u.ac.jp/>)からお申込み下さい。

○E-mailで申込み：「AMTIシンポジウム参加申込」と題記し、(1)氏名、(2)所属、(3)E-mailアドレスを下記申込先E-mail宛てにご連絡下さい。

○当日受付：会場にてお申込みください。

■ 申込先・問合せ先

金沢大学 設計製造技術研究所

E-mail: amti@se.kanazawa-u.ac.jp

【主催】金沢大学設計製造技術研究所

金沢大学先魁プロジェクト2018

【協力】石川県工業試験場



石川県立美術館へのアクセス



(住所) 〒920-0963 石川県金沢市出羽町2-1

(電話) 076-231-7580

(公式ホームページ) <http://www.ishibi.pref.ishikawa.jp/jpc/access/>

(交通アクセス)

○バス

JR金沢駅東口(6番のりば)から「兼六園シャトル」で約15分

- ・「県立美術館・成巽閣」下車、徒歩約2分 (バス後方向正面が県立美術館です)
- ・金沢駅始発9時30分～終発17時50分まで、20分おきに運行

○タクシー

JR金沢駅から約15分

○車

北陸自動車道金沢西IC、森本ICより20～30分

※周辺有料駐車場をご利用ください (石川県立美術館の駐車場は利用できません)



(住所) 〒920-1192 石川県金沢市角間町 自然科学3号館

(電話) 076-234-6821 (e-Mail) amti@se.kanazawa-u.ac.jp

(ホームページ) <http://amti.w3.kanazawa-u.ac.jp/>